



取手第二中学校 学校だより

令和8年9月2日発行

文責 校長 丸山 信彦



学校 HP

【組織目標】 「考え・動き・つながる」共に学びと感動のある学校づくり

自由な発想で進める、私たちが主役の学校づくり

いよいよ今日から学校が再開いたしました。長い夏休みを経て、たくましく成長した子どもたちと元気に再会できたことを、大変うれしく思います。夏休みの間にさまざまな場面で発揮された「考えて・考えて・考え抜く力」と、折れない力である「レジリエンス」は、子どもたちの大きな自信となっていることと思います。ご家庭での温かい見守りとサポートに、心より感謝申し上げます。

また、間もなく1学期のまとめとなる第2回定期テストが控えています。テストは、子どもたち自身が自分の頑張りや、できること・できていないことをしっかりと把握するためのものです。これを次の新たな学びへのスタートとして前向きに捉えてほしいと願っております。

今日からの日々は、「みんなの笑顔のために」子どもたち一人一人が主役となる舞台です。自由な発想を生かし、より生徒主体の学校づくりを進めてまいります。教職員一同、子どもたちの思いに寄り添い、全力で支えていきます。

■ 自分たちの学校は自分たちで創る！校則検討チーム ■

「自分たちの学校は自分たちで創る」という本校の姿勢を象徴する取組が、校則検討チームです。先日は、子どもたちが学校運営協議会委員の皆様や教職員とともに話し合いを行いました。

なぜそのルールが必要なのか、どうすればより良くなるのかを真剣に考え、提案し合う姿がありました。異なる意見をまとめ上げる調整力を発揮した話し合いは、取手二中独自の取組であり、本当にすばらしいものです。

こうした経験は、将来、社会や会社を運営していく力へと確実につながっていきます。これからも生徒会とともに、生徒が主役の学校づくりの中核として、大きく活躍してほしいと願っています。



■ 部活動：努力の軌跡と感謝、情熱は未来の幸せへ ■

3年生にとって最後の舞台となる、夏の総合体育大会や吹奏楽コンクール。この夏、上位大会へと勝ち進み、全力を尽くした子どもたちの健闘を心からたたえます。

結果を出して勝つことももちろん大切ですが、それ以上に、これまで厳しい練習を乗り越えてきた努力の過程こそが、確かな実を結んだのだと思います。自分が一つのことに取り組めるよう、日々サポートしてくださったご家族をはじめ、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れないでください。そして、先輩たちのバトンを受け継ぎ、新たにスタートを切った1・2年生の新チームのみなさん。これからの挑戦と大きな成長を、全力で応援しています。

また、学校の部活動以外の競技や活動において、日頃からたゆまぬ努力を続けている子どもたちの活躍も大変立派でした。

すべての子どもたちへ。これからも、自分の好きなこと、得意なことをとことん突き詰めていってください。何かに夢中になれる情熱は、現在、そして未来の幸せな人生に必ずつながっているからです。



■ 地域に広がる笑顔の輪！ボランティアでの輝き ■

寺原公民館まつりでは、数名の子どもたちがボランティアとして参加し、地域に大きく貢献してくれました。子どもたちの活躍は、主催者の方々はもちろん、参加した小学生をはじめとする地域の方々にたくさんの喜びと笑顔をもたらしました。取手二中の子どもたちは一人の中学生であるとともに、地域の大切な一員です。人のために一生懸命に行動できることは、本当にすばらしいことです。これからも学校という枠にとどまらず、どんどん地域で活躍してほしいと願っています。その経験は子どもたちの豊かな人生を育み、我が街、取手市を愛する力へと必ず変わっていくはずです。

